

9 中国の古典文明 I (殷・周と春秋・戦国時代)

教 ▶ p.69 ~ 75

中国文明の発生

前6000頃から黄河・長江流域で特色ある文化圏が起こる
最近の研究では中国古代文明の発祥は「黄河文明」というよりも、むしろ「河・江文明」といわれる

前5000頃～前3000頃

彩陶文化 (仰韶文化)

黄河中流域
彩文土器 (彩陶) の製作

河姆渡文化

長江下流域

前3000頃～前1500前後

黒陶文化 (崑山文化)

黄河下流域中心
黒陶の製作 (三足土器が特色)
灰陶の出現
獣骨による占い

邑 氏族制的共同体
血縁的氏族共同体を母体として形成された集落

黄河中・下流域に点在

殷は強大な宗教的権威によって多数の邑を支配

前15C 殷 (商)

殷墟の発掘
現在確認できる最古の王朝
殷王の権力・財力の強さを示す
祭政一致の神権政治 (占卜の結果を絶対的な神意とする)
高度な青銅器文明

甲骨文 (漢字の起源)



殷の甲骨文字

前11C

周 (西周)

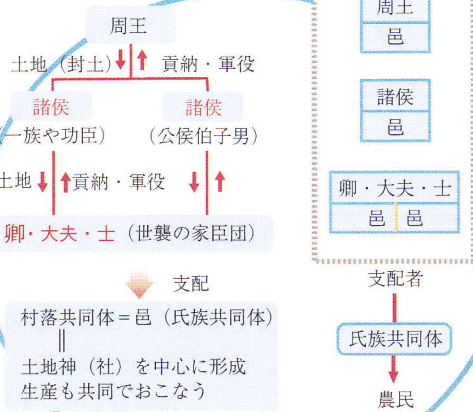
渭水流域における都 鎬京

封建制度

特色 = 血縁の関係によって支配の強化をはかる

周王と諸侯の関係は、本家・分家の関係

宗法制度 = 祖先の祭祀・服喪などを通じて本家を中心に宗族の団結をはかる



周の東遷 (前770) ← 犬戎の攻撃

洛邑に遷都

前770

春秋時代

覇者の出現 春秋の五覇
尊王攘夷を唱える

東周 伝統的権威は保つ

春秋・戦国の社会経済

鉄製農具の使用・治水灌漑
牛耕農法の普及・富国策
農業生産力の増大 → 氏族共同体 (邑) の解体

晋が臣下によって韓・魏・趙に三分される
下剋上 = 封建的秩序の崩壊 → 実力本位の時代へ
諸侯の抗争続く 富国強兵策の推進・人材登用

商工業の発達
青銅の貨幣の流通 (刀銭・布銭など)

家族単位の村落共同体へ

戦国の七雄の台頭
封建制度崩壊の中で社会秩序の再建を模索

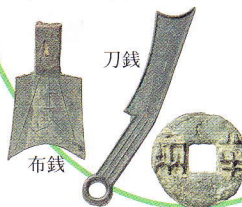
諸子百家の活躍

秦・韓・魏・趙・齊・燕・楚

秦: 商鞅の改革で強大化

始皇帝の中国統一

- 儒家 孔子・孟子・荀子
- 道家 老子・荘子
- 法家 商鞅・韓非
- 墨家 墨子



青銅の貨幣

邑の成立

邑制国家 (邑を基礎とした国家体制)

邑制国家的秩序の崩壊

領域国家の成立

前403

戦国時代

前221